

CIRAS Discussion Paper No. 103

ユーラシア国境域の自然環境と境域社会の生活戦略

地田徹朗¹⁾・柳澤雅之²⁾ 編

1) 名古屋外国語大学世界共生学部

2) 京都大学東南アジア地域研究研究所

京都大学東南アジア地域研究研究所

目次

巻頭言	3
第1章	
中央アジア・アラル海をめぐる境界の変容とスケールの政治 地田 徹朗（名古屋外国語大学）	5
第2章	
インド北東地方のボーダーと辺境の変容 ——アッサム・ブータン国境を中心に 浅田 晴久（奈良女子大学）	21
第3章	
インド北東部国境地域における社会経済変化がもたらした焼畑農業への影響評価に向けて——衛星画像の判読に基づく焼畑農地抽出の試み 渡邊三津子（奈良女子大学）	35
第4章	
多層的ボーダーに生きる苦悩と光 ——中露アムール国境への旅を通して 花松 泰倫（九州国際大学）	43

CIRAS Discussion Paper No.103

CHIDA Tetsuro and YANAGISAWA Masayuki (eds.)

Natural Environment and Life Strategy of the Society in Eurasian Borderlands

©Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University

46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,

Kyoto 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-7302

FAX: +81-75-753-9602

March, 2021

著者紹介

地田 徹朗（ちだ てつろう）

名古屋外国語大学世界共生学部准教授。専門分野は、ソ連史、中央アジア地域研究。近現代の環境史や地理学史、地域研究の広域比較にも関心あり。主な著書に、『牧畜を人文学する』（共編著、名古屋外国語大学出版会、2021年）、『現代中央アジア：政治・経済・社会』（共著、日本評論社、2018年）、主な論文に「ペレストロイカと環境問題：「アラル海問題」をめぐるポリティクス」『国際政治』201号、2020年、など。

浅田 晴久（あさだ はるひさ）

奈良女子大学大学院人文科学系准教授。専門・関心はインド北東地方およびバングラデシュの環境変動と社会、気候学、文化生態学。主な著書に *Climate and Rice Cropping Systems in the Brahmaputra Basin: An Approach to Area Studies on Bangladesh and Assam* (Rubi Enterprise, 2012)、横山智・荒木一視・松本淳編『モンスーンアジアの風土とフード』（明石書店、2012年）など。

渡邊 三津子（わたなべ みつこ）

奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所共生科学研究センター協力研究員。専門・関心は、地理学、アジア農村における景観変遷史。主な編著書に『中央ユーラシア環境史3』（臨川書店、2012年）、著書（分担執筆）に「アラビア半島——自然環境」「半世紀の変化——画像資料からみる」他数編、縄田浩志編『サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年——「みられる私」より「みる私』』（河出書房新社、2019年）など。

花松 泰倫（はなまつ やすのり）

九州国際大学法学部准教授。専門・関心は境界研究、ボーダーツーリズム、科学技術社会論。主な著書に、*Decision Science for Future Earth*（共著、Springer, 2021）、『つながる政治学——12の問いから考える』（共著、法律文化社、2019年）、『ボーダーツーリズム——観光で地域をつくる』（共著、北海道大学出版会、2017年）、『アイスランド・グリーンランド・北極を知るための65章』（共著、明石書店、2016年）など。

表紙写真

- 上左 インド-ミャンマー国境の村（Longwa）尾根の西側（左側）はインドで、東側（右側）がミャンマー（撮影：渡邊三津子）
- 上右 伐木年代の異なる焼畑農地（撮影：渡邊三津子）
- 中左端 空から見たインド・ブータンの境界（撮影：浅田晴久）
- 中左 カザフスタン=ウズベキスタン国境（カザフスタン側）にて（撮影：地田徹朗）
- 中右 山岳バダフシャン自治州の小村にもアガ・ハーン財団の支援が入る（撮影：地田徹朗）
- 中右端 インド・ブータン国境手前の道路標識（撮影：浅田晴久）
- 下中 ロシア船でアムール中露国境を渡る（左が中国・黒河、右がロシア・ブラゴヴェシチェンスク、撮影：花松泰倫）
- 下右端 ウズベキスタン領ムイナクのアラル海記念碑（旧戦勝記念碑、撮影：地田徹朗）
- 背景 中国・黒瞎子島から見たアムール川と対岸のロシア（右にロシア国境警備艇、撮影：花松泰倫）

CIRAS Discussion Paper No. 103

ユーラシア国境域の自然環境と境域社会の生活戦略

編 者 地田 徹 朗
柳澤 雅 之

発 行 日 2021 年 3 月 31 日

制作・発行 京都大学東南アジア地域研究研究所
<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp>

印 刷 株式会社田中プリント
〒 600-8047 京都府京都市下京区石不動之町 677-2
<https://www.tn-p.co.jp>